

小学生 56 人が貴金属で工芸体験！  
銀のオリジナルスプーンをつくるワークショップを開催

朝小サマースクール in 昭和女子大学 2018

田中貴金属グループの純粋持株会社であるTANAKAホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：田苗 明）は、朝日学生新聞社開催の「朝小サマースクール in 昭和女子大学 2018」に協賛し、8月8日（水）に昭和女子大学にて貴金属をテーマにしたワークショップを開催しました。

ワークショップは計3回行い、小学4年生から6年生までの児童56人が参加。参加者は、意外と知られていない金や銀などの貴金属の特性や、身の回りにある貴金属製品などについて説明を受けたあと、講師の東京藝術大学 美術学部 工芸科准教授の前田 宏智氏より、銀のオリジナルスプーンづくりの工程について、実演を交えながら学びました。



講師の前田氏からスプーン作りの工程や道具の説明を真剣に聞く参加者たち

銀の素材を金槌で叩いてスプーンの皿の部分を広げたり、柄の部分伸ばしたり、工程ごとに様々な道具を使いながらのスプーン作り体験に最初は戸惑っていた参加者たちも、各班の先生役としてついてくれた東京藝術大学 美術学部 工芸科の学生の指導とサポートを受け、銀という素材の特性を肌で感じながら制作を進めていきました。銀のスプーンの柄の部分に「布目象嵌（ぬのめぞうがん）」と呼ばれる技法で金の薄板を飾り、世界に一つだけのスプーンが完成しました。早速自分で作ったスプーンでアイスクリームを食べると、銀の熱伝導率の高さによってスプーンを通して自分の体温がアイスクリームに伝わり、より掬いやすく食べやすくなることも体感しました。



大学生のサポートを受けてスプーンを完成させていく参加者たち

#### ◇ワークショップ参加者の感想

参加者からは、「スプーンの形を整えたりするところが難しそうに思えたけど、本当に貴金属が曲がったり伸びることが良くわかった。」など、貴金属の素材自体の不思議さに驚く感想がありました。また、「自分で作ったオリジナルスプーンで色々な物を食べて大切に使っていきたい。」といった、今回の体験をきっかけにもものづくりの楽しさを感じた参加者もいました。

参加者の保護者からは、「子どもにとって貴重な体験ができた。」「真剣に取り組む子どもの姿が見られた。」という感想が多数あったほか、「思い出に残り、物も大事にするようになると思う。」「金属が加工される工程が、今回の工芸体験を通じて理解できたと思う。」といった感想が寄せられました。



世界に一つのオリジナルスプーンを完成させた参加者



完成したオリジナルスプーンを手にみんなで記念撮影

■TANAKA ホールディングス株式会社（田中貴金属グループを統括する持株会社）

本社：東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング 22階

代表：代表取締役社長執行役員 田苗 明

創業：1885年 設立：1918年\* 資本金：5億円

グループ連結従業員数：5,034名（2017年度）

グループ連結売上高：9,766億1,300万円（2017年度）

グループの主な事業内容：田中貴金属グループの中心となる持ち株会社として、グループの戦略的かつ効率的な運営とグループ各社への経営指導

HPアドレス：<https://www.tanaka.co.jp>（グループ）、<https://pro.tanaka.co.jp>（産業製品）

\*2010年4月1日にTANAKAホールディングス株式会社を持株会社とする体制へと移行いたしました。

■田中貴金属グループについて

田中貴金属グループは1885年（明治18年）の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇り、長年に渡って、産業用貴金属製品の製造・販売ならびに、宝飾品や資産としての貴金属商品を提供。貴金属に携わる専門家集団として、国内外のグループ各社が製造、販売そして技術が一体となって連携・協力し、製品とサービスを提供しております。また、さらにグローバル化を推進するため、2016年にMetalor Technologies International SAをグループ企業として迎え入れました。

今後も貴金属のプロとして事業を通じ、ゆとりある豊かな暮らしに貢献し続けます。

田中貴金属グループの中核5社は以下の通りです。

- ・TANAKAホールディングス株式会社（純粋持株会社）
- ・田中貴金属工業株式会社
- ・田中電子工業株式会社
- ・日本エレクトロプレイング・エンジニアーズ株式会社
- ・田中貴金属ジュエリー株式会社